

本紙は、ワイヤレス見張隊の設置方法について、説明します。

カメラは水の浸入に対する保護等級 IP66 相当(あらゆる方向からの強い噴流水による有害な影響がない)の仕様を有しており、風雨にさらされても問題はありません。長く大切にご使用いただくために、雨や日差しを避けた設置環境(軒下など)をお勧めします。カメラを設置する際、地域の条例やガイドラインに従って設置してください。撮影箇所により、許可・届出等が必要な場合があります。

## 1. 注意事項

・設置する際の注意事項です。よくお読みください。

### 警告

- 不安定な場所、振動の多い場所、強度の弱い壁には取り付けしないでください。カメラを取り付けても十分に支えられる壁面にしっかりと取り付けてください。落下する恐れがあり、破損やケガの原因となることがあります。
- 壁面内の配線や配管(ガス管・水道管等)を傷つけないように取り付けてください。ネジなどで配線や配管を傷つけると、火災・感電の原因となります。
- AC100V 商用電源以外では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- 専用の電源アダプタおよび電源コード以外は絶対に使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 本装置は日本国内専用です。国外で使用すると火災や感電の原因となります。  
また、他国には独自の安全規格が定められており、本装置は適合していません。
- 万一、煙が出ている、異臭がする等の異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源コードをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、ご購入店か弊社に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。
- カメラを分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。

### 注意

- 壁の穴開け工事については、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- モルタル塗装の場合、穴開けにより、古い壁が落ちることがありますので、注意して穴開けをしてください。
- カメラを次のようなところへの設置は避けてください。
  - ・火気のそば
  - ・油飛びや湯気が当たるような場所
  - ・不安定な場所
  - ・ほこりが多い場所
  - ・極度に振動が激しい場所
  - ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
  - ・強い磁界を発生する装置などが近くにある場所
  - ・極度に高温や低温になる場所
  - ・直射日光が当たるところ
  - ・重電機器、医療機器、電磁波の発生する機器の近く

### 電波の到達距離について

録画装置からカメラの間に障害物がない場合は、見通し距離約 50m 以内で使用できますが、次のような場合は、電波が届きにくくなります。

- ・鉄筋や鉄骨を使用した建物で使用する場合
- ・カメラと録画装置が別の階層や別の建物にある場合
- ・カメラと録画装置の間に次のような障害物がある場合  
(外壁、金属製の扉や戸、トタンなどの金属製の外壁材、金属箔が含まれる断熱材、金属製の家具など)

カメラは電波干渉による影響を防止するため、次のように機器から離して使用してください。

- ・電子レンジ ・無線 LAN 機器 ・ワイヤレス AV 機器 ・インバーター電気機器
- その他、下記の機器でも近くで使用すると、本機やその機器の動作に影響がでる場合があります。離して使用してください。
- ・ゲーム機のワイヤレスコントローラー ・デジタルコードレス電話機 ・火災報知機 ・アマチュア無線局
- ・自動ドア ・マイクロ波治療器 ・Bluetooth®対応機器 ・ワイヤレスインターホンやワイヤレスドアホン


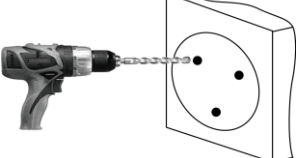
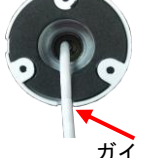



## 2. 箱の中身を確認

- ・箱の中から次の部材を使用します。万一、不足や損傷している場合は、お手数ですがお買い上げの販売店または弊社へご連絡ください。
- ・電源アダプタの形状は、予告なく変更することがあります。(性能は変わりません。) ご了承ください。

カメラ(アンテナ含む) × 2	ネジ・アンカープラグ(各3) × 2	防水部材 × 2(使用しません)	六角レンチ × 2	カメラ用電源アダプタ × 2
LAN ケーブル × 1	録画装置 × 1	録画装置用電源アダプタ × 1	マウス × 1	取扱説明書 × 1


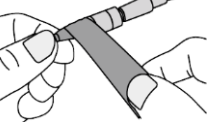

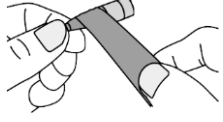
### 3. カメラの取り付け方法

・カメラを壁に取り付ける場合を例に説明します。

			
① カメラのネジ穴位置を確認してから、壁に取り付ける場所を決めます。	② 壁に穴を開けます。 φ6~6.5mmのドリルビットを使用し、深さ30mmのガイド穴を開けます。	③ ガイド穴に、アンカープラグを押し込んで入れます。	④ ケーブルをガイドの溝からケーブルを出します。
			
⑤ ベースのガイド穴を通し、ドライバでネジを締めて壁に密着させます。	⑥ 上記の箇所を、六角レンチで緩めることにより、カメラの向きを調整できます。	⑦ 上記の箇所を、六角レンチで緩めることにより、カメラ映像の角度を調整できます。	⑧ カメラの向きを決めてから、六角レンチで締めます。
			
⑨ アンテナを取り付けます。	⑩ 必要に応じて、アンテナの角度を変えます。	⑪ カメラの電源端子に、カメラ用電源アダプタを接続します。LAN端子は接続しません。	

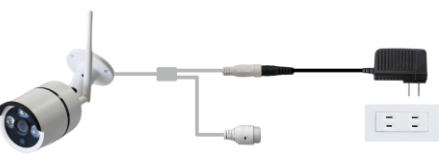
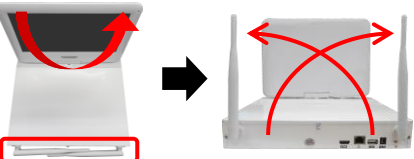


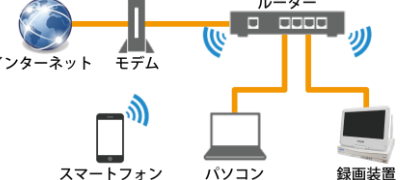

### 4. ケーブルの防水方法

・ケーブルの端子を水滴から防ぐため、防水処理する方法を説明します。(防水プルボックス等に収納する場合は不要です。)

			
① カメラと電源アダプタの接続部は、市販の自己融着テープを巻いて防水します。	② カメラのLAN端子は使用しないため、端子部が濡れないように市販の自己融着テープを巻いて防水します。		

### 5. 録画装置の設置

・録画装置を設置します。ネットワークに接続しない場合は、手順④・⑤は不要です。

		
① カメラを設置し、電源を接続します。	② 録画装置のモニターとアンテナを起し、向きを変えます。	③ 録画装置にマウスを接続します。
		
④ 【ネットワークに接続する場合のみ】録画装置のLAN端子にLANケーブルを接続し、ネットワークに接続します。	⑤ 【ネットワークに接続する場合のみ】パソコン等をネットワーク環境に接続します。	⑥ 録画装置の電源アダプタを接続すると、電源が入ります。

### お問い合わせ 株式会社 レッツコーポレーション

■本社 〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内二丁目20-1 レッツ丸の内本社2号館ビル TEL: 052-201-6230 FAX: 052-201-5050  
 ■サービス TEL: 052-209-7860 FAX: 052-201-5050  
 ■東京営業所 〒104-0061 東京都中央区銀座八丁目19-3 銀座竹葉亭ビル6F TEL: 03-3546-0889 FAX: 03-3546-0941  
 ■大阪営業所 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原1-2-9 新大阪ハイロードビル5F TEL: 06-6151-5749  
 ■URL <http://www.lets-co.jp/lets/>